



私たちが授業で育てた冬の花をお楽しみ下さい！



シクラメン

○サクラソウ科 ○和名/カガリビバナ ○花期/10月～1月
○草丈/10～30センチ ○花色/ 赤、ピンク、白、黄色など
寒さと乾燥に強く、“冬の鉢花の女王” とも呼ばれています。

◆ 葉の数は花の数！

葉と花の数が同じなので、葉が多ければ多いほど花付きが良くなります。茎が強く、葉の色が鮮やかな品が良品とされています。

◆ 肥料は液肥か置き肥を

液肥を使用する場合は1ヶ月に2～3度ずつ与えて下さい。錠剤の場合は1ヶ月に1度、1錠ずつ与えて下さい。錠剤を使う場合は、液肥は不要になります。



花と葉に直接水をかけたらカビの原因に！

かん水は土の表面が乾いてから、花と葉に直接かけないように鉢の脇から少しずつ与えて下さい。球根の株に近い部分にカビが発生した場合は、すぐにカビを除去して下さい！



日当たりが良く涼しいところに

生育には十分な日当たりと涼しい場所を好みます。適温は15度～20度とされています。（暖房器の近くは避ける）



枯れた葉・花は根元から

花が枯れてきたら、花茎の根元を軽くねじるように引っ張って摘み取ります。葉も黄色く枯れてきたら同様に摘み取ります。枯れた花や葉をそのままにしておくと病気の発生源になります

◆ 夏場はどうするの？

4～5月頃になると、花も葉も少なくなり弱っていきます。夏場は花茎を全て摘み取り、室内での管理が中心になります。冷房の風に直接当たらない、涼しい日陰で管理して下さい。カビの発生を防ぐため、かん水は控えめにします。花芽が出てきたら適宜摘み取り、9月上旬まで葉のみの状態を保ちます。夏の間に花を摘み取ることで栄養を球根に蓄え、冬に美しい花を咲かすことができます。



ポインセチア

○トウダイグサ科 ○和名/ショウジョウボク ○花期/11月～1月
○草丈/20～40センチ ○葉色/緑から赤、白、ピンクなど
クリスマスフラワーの別名を持つ冬の常緑性低木。

◆ 枯れた葉はすぐに捨てて！

枯れた葉はすぐに除去して下さい。場合によっては灰色カビの発生の原因にもなります。

◆ 樹液に注意！皮膚炎やかぶれも

茎や葉に傷がつくと、表面に乳白色の樹液が分泌されます。肌が弱い人が樹液に直接触れると、皮膚炎やかぶれの原因となる可能性があります。

◆ もし虫が出たら

病害虫の心配はありませんが、稀にオンシツコナジラミという虫が発生します。その際には、園芸用殺虫剤を使用してください。



水は土の表面が乾いたら

かん水は3日に1回を目安に、土の表面が乾いたら湿る程度に施します。過剰なかん水は根を弱らせる原因になります。



日当たりの良い暖かいところへ

寒さにとても弱い植物なので、日当たりの良い暖かい室内の窓辺で管理して下さい。



葉の色を綺麗に変えるには

日光に当たる時間が12時間以下になると葉の色が変わる性質を持っています。朝から夕方までは日が当たるところに、夜は照明の光が当たらないところで管理すると綺麗に色付きます。

問い合わせ先(HP・学科紹介はQR↓)

北海道岩見沢農業高等学校 生活科学科

〒068-0818 北海道岩見沢市並木町1番地5

TEL 0126-22-0130

FAX 0126-22-5362

